

金子兜太氏の

略歴と功績



3月12日、平成21年第一回皆野町議会定例会において、金子兜太氏(89)の名譽町民推挙議案が提出され全会一致で同意されました。

3月23日、熊谷市の自宅にて、石木戸町長から顕彰状と記章が贈られました。

金子氏は、大正8年、1919(一句一句とはご本人の弁)年に比企郡小川町に生まれ、大正15年に国神村に転入。皆野小学校を卒業後、旧制熊谷中学、旧制水戸高校、東京帝国大学へと進まれ、昭和18年に日本銀行に入行されました。

同年、海軍主計中尉(後、大尉)としてトラック島に赴任され、昭和21年に復員、日本銀行に復職。昭和30年に第一句集「少年」を刊行、昭和37年には、新しい俳句の流れの原動力となる俳誌「海程」を主宰、創刊されました。

昭和49年に日本銀行を退職、俳句に専念する日々を送られ、昭和58年に現代俳句協会会長(平成12年に名誉会長)に就任。昭和62年に紫綬褒章受章、平成6年に勲四等旭日小綬章を受章され、昨年11月に文化功労者に選ばれました。

現在も日本芸術院会員などを務められ、日本を代表する俳人として精力的に活動、活躍されています。

皆野町の名譽町民は金子氏で5人目となります。

主な句集・著書

■句集 『金子兜太選集』 4巻

『皆之』

『両神』

■著書 『二茶句集』

『種田山頭火』

『今日の俳句』

『現代俳句歳時記』

『二度生きる』 など

定額給付金・子育て応援特別手当の支給

申請書受付期限

平成21年9月24日

定額給付金

景気が後退するなか、住民の生活支援や地域経済の活性化を図るため支給するものです。

対象者 平成21年2月1日現在、皆野町に住民票があるかた(外国人を含む)

給付額 1人 12,000円
ただし、昭和19年2月2日以前および平成2年2月2日以降に生まれたかたは20,000円

子育て応援特別手当

多子世帯の幼児教育期の子育て負担を軽減するため支給するものです。

対象者 ①平成21年2月1日現在、皆野町に住民票があり(外国人を含む)、
②平成2年4月2日～平成17年4月1日生まれの子が2人以上いる世帯の第2子以降で、小学校就学前3年に該当する子ども

給付額 1人36,000円

給付を受けるには申請が必要です。3月下旬に申請書を送付しましたので、必要事項に記入・押印のうえ、同封の返信用封筒により町へ返信してください。

書き方がわからない場合は、健康福祉課福祉介護担当または地区の民生委員にご相談ください。

問合せ 健康福祉課福祉介護担当 ☎62-1230 内線114・119

定額給付金の給付手続きをよそおった詐欺が発生しています。ご注意ください。

定額給付金の給付において、町や総務省などが

○手続きのための手数料の支払いや振り込みを求めることは絶対にありません。

○ATM(現金自動預払機)の操作をお願いすることは絶対にありません。

定額給付金の申請を町へ行う前に、ご自宅や職場などに町や総務省(の職員)などをかたった電話がかかってきたら、迷わず、健康福祉課福祉介護担当または最寄りの警察署(または警察相談電話(#9110))にご連絡ください。

また、見知らぬ者が「役場の者です。」と名乗って訪問して来た際には、身分証明書の提示を求めてください。